

スポーツとドーピング

山口大学医学部保健学科 松田昌子

ドーピングとは？

ドーピングという言葉は南アフリカ共和国の原住民が士気を高めるために飲んでいたお酒、“dop”に由来し、以前は競走馬や競走犬にアルコールや麻薬を使って速く走らせようとするを指していたようです。それが人間にも使われるようになったことが問題となり、スポーツの公正さを損なう行為として今は禁止され、オリンピックや国際スポーツ大会のような大きな大会では必ず、禁止物質が使われていないか調べるドーピング検査があります。国体でも平成15年の静岡大会から段階的に取り入れていくことになりました。国内テニス大会では平成10年の全日本テニス選手権大会で初めてドーピング検査が行なわれたそうです。

国民体育大会ドーピング・コントロール規定はドーピングを次のように規定しています。「競技力向上を目的として禁止物質あるいは禁止方法を使用することであり、また、禁止物質が競技者から採取した検体中に存在することである。・・・中略・・・禁止物質あるいは禁止方法を隠蔽する物質および方法も禁止対象となる。」意図的に使われたものはもちろん、知らずに飲んだ薬の中に禁止物質が含まれていたというような場合でも処罰の対象になります。“禁止方法”とは、血液が酸素をたくさん運べるように赤血球を輸血したり、検査の尿に何かの隠蔽操作を加えるというようなことが含まれます。この頃は遺伝子を使った遺伝子ドーピングというものもあるようです。

ドーピングがなぜいけないのか？

日本オリンピック委員会はドーピングを禁止する理由として1) スポーツマンのフェア・プレーの精神に反する、2) ドーピングは社会悪になる、3) ドーピングは選手の健康を害する、という3点をあげています。

スポーツ選手が、強くなりたい、よりよい成績をあげたいと思うのは当然ですが、そのために日々辛い練習に耐え、その結果として得られた勝利は、自分自身の喜びははもちろん、周囲の人にも感動とあこがれの気持ちをもたらします。しかし、それはフェア（公平）に戦われたということが大前提で、もし何か、ずるい方法が使われていたとすると、スポーツをする人に対して日頃私たちが抱いている信頼や尊敬の気持ちを崩壊させ、スポーツのもつ崇高な精神を傷つけてしまいます。

ドーピングは規則違反をするということです。多くの人がスポーツをしたり観たりしていますが、スポーツの世界で“ずるいこと”をすることが通用するということになると、社会の規則に対しても同様の考えが人々の心に芽生えます。

ドーピングの薬の中には、筋肉増強剤のように正常の体そのものを破壊するもの、興奮剤のように、通常の使用ではあまり問題にならないが、スポーツのように究極に近い形で心臓や肺、筋肉が活動している状況では、興奮を通り越して死に至ってしまうものなど恐ろしい薬がたくさんあります。

普通の薬にも禁止物質がふくまれているのか？

ドリンク剤でも飲みすぎるとカフェインの量が問題になることがあり、風邪薬にも禁止物質が含まれているものがあり、よく使われるものだからといって油断できません。風邪気味なので風邪薬の漢方薬を人にもらったのんだためにドーピング陽性のなり、競技に出られなかった気の毒な選手の話は有名で

す。サプリメントも成分を確かめて使うべきで、表示されていないものはのまないようにした方が安心です。禁止物質でも、喘息の発作止めや局所麻酔剤など慢性の病気で使っている場合は、前もって申請しておけば許可されるものもあるので、専門家に聞いてみることです。禁止物質や方法のリストが載っているホームページアドレスの一覧を枠内にのせておきます。

ドーピング検査はどのようにして行われるのか？

競技会で行なわれる検査は、競技が終わった段階で検査の対象者になったことが文書で通告され、1時間以内に検査室に行かなければなりません。検査室で検査するための尿を採りますが、必ず係の人が付き添います。本来体の中に入らない物質は、ほとんど尿の中に溶けて体の外に出て行くので、尿を調べて成分を分析するわけです。協議会外の検査も、事前通告なしにトレーニング中に実施されますが、検査項目は競技会当日の検査より少なくなります。いずれにしても、もしも自分がドーピング検査の対象に選ばれたら、特別に自分が疑われているわけではなく、くじ引きで代表になったようなものだと気分を落ち着けて検査を受けましょう。

ドーピング規定や禁止物質関連ホーム・ページ・アドレス

- 日本体育協会アンチドーピング <http://www.japan-sports.or.jp/doping/regulation.html>
- 日本オリンピック委員会 <http://www.joc.or.jp/sitemap/index.html>
- 三菱化学BCL <http://www.mbcl.co.jp/data/doping/>
- 「知ってほしいドーピングの知識」日本テニス協会ドーピングコントロール委員会
http://www.jta-tennis.or.jp/doping_control/index/sub_text/sub_text_01.htm
- 日本アンチドーピング機構（JADA） <http://www.anti-doping.or.jp/index2.html>